

### 新たなソフトウェア開発拠点「Honda Software Studio Osaka」を開設

Honda は、大阪梅田地区の複合商業施設「グラングリーン大阪」（大阪府大阪市北区）内に、新たなソフトウェア開発拠点「Honda Software Studio Osaka（ホンダソフトウェアスタジオ大阪）」を 2025 年 4 月に開設しました。



Honda は、電動車を主とした商品競争力強化に向けて「知能化」を重要な柱と位置づけ、2031 年 3 月期までの 10 年間で約 2 兆円をソフトウェア関連の研究開発に投資する計画です。この方針のもと、高度な専門性を持つ人材の獲得と、エンゲージメント<sup>※1</sup> および開発力の最大化に取り組んでいます。

これに伴いソフトウェアエンジニアが働きやすい環境の整備を進めており、2023 年 10 月の大阪を皮切りに、大宮、品川、名古屋、福岡と開発拠点を拡大。Honda Software Studio Osaka は、大阪における従来のソフトウェア開発拠点を発展させ、2025 年 4 月に新たに開設されました。2026 年初めには東京都内にも新たな拠点を開設予定です。

Honda のソフトウェアの開発体制は、実車開発の中心となる栃木の開発拠点を主軸に、全国のソフトウェア開発拠点と連携した開発を推進しています。こうした開発ノウハウに加え、全社的に充実したリモートワーク環境の整備や Honda Software Studio Osaka の最新のオフィス設備により、拠点間でのシームレスな連携と高い生産性を実現しています。

この新拠点の開設により、大阪・関西圏に集まる優秀なソフトウェア人材の採用が促進され、大学や研究機関との連携やパートナー企業との協業を加速させることで、新たな価値が創出されることを期待しています。今後 Honda は、本拠点を Honda の開発拠点として関東圏に次ぐ国内第二の規模となる約 500 名体制へと拡大し、ソフトウェア人材の充実を図っていきます。

## 【Honda Software Studio Osaka のオフィスの特徴】

### ■多岐にわたる開発部門が集結

Honda Software Studio Osaka には、自動運転／先進運転支援システムや、スマートキャビンといったアプリケーション、アプリケーションを高効率で動かすためのハードウェアである SoC (システム・オン・チップ)、それらを制御するプラットフォームであるビーコル OS など、ソフトウェアデファインドビークル (SDV) の実現に向けて Honda が独自開発する技術を担当するさまざまな部門が集まっています。

### ■幅広いバックグラウンドを持つ多彩なアソシエイトが在籍

現時点<sup>※2</sup>で約 100 名のアソシエイトが在籍しており、そのうち 85%がキャリア採用者です。キャリア採用者の経歴はさまざまで、SIer<sup>※3</sup>、鉄道、電機など、幅広い業種でのバックグラウンドを強みに、従来のモビリティメーカーにはなかった新鮮なアイデアや知見を持って、大いに活躍しています。新卒で Honda に入社し Honda の技術に精通しているプロパー社員と、キャリア採用者が互いの強みを生かしながら相乗効果を生み出すことで、スピードに競争力を高めていきます。

### ■柔軟で多様な働き方をサポートする「ABW (Activity-Based Working)」を採用

従来の固定席から解放され柔軟で多様な働き方をサポートする「ABW (Activity-Based Working)」というスタイルを採用。従業員一人ひとりが仕事の内容や状況に応じて最適な作業環境を自ら選択することができます。これは、モチベーション向上とパフォーマンスの最大化、柔軟な発想を引き出すことを狙いとしています。加えて、オフィスデザインコンセプトであるコミュニケーションファーストを意識したデザインにより、エンジニア同士やチーム間の偶発的なコミュニケーション促進を加速させ、組織としての飛躍的な生産性向上や新たな価値の創出も期待しています。

### ■「三現主義」に基づく Honda ならではのオフィスの工夫

プロジェクトメンバーが開発中の実機を前に手を動かしながら議論できる「プロジェクトブース」、はんだ作業を想定し換気環境を備えるなど、実際にモノを触りながら作業を行えるよう配慮された「デバッグルーム」といった特徴的なスペースを設けています。また、地下には駐車スペースも確保し、完成車を身近に触れながら開発ができる環境を整備。こうした仕掛けにより、ソフトウェアの動作確認とデバッグ<sup>※4</sup>の迅速化や、実環境での検証による信頼性向上といった効果を生むことで、製品の品質向上や開発効率の向上を実現します。

このように、デスクワークが主体となりがちなオフィス環境にいながらも、ものづくりの基本である実機に「触れて試せる」開発環境を備え、モビリティカンパニーとして Honda が大切にしてきた「現場・現物・現実」を重視した「三現主義」の文化と、最新のソフトウェア開発との融合の実現を目指します。

## 【Honda Software Studio Osaka 概要】

所 在 地：大阪府大阪市北区大深町 5 番 54 号 グラングリーン大阪南館パークタワー27階  
開 設 時 期：2025 年 4 月

主な開発領域：ソフトウェア・バッテリー

※1 従業員と企業の信頼関係や愛着心、思い入れ

※2 2025 年 6 月時点

※3 SIer (エスアイヤー) とは、System Integrator の略で、システム開発のすべての工程を請け負う受託開発企業を指す

※4 プログラムのバグ (誤り) を見つけて修正する作業